

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化	
施策	① 離島空港の整備及び離島航空路の維持・確保		
主な取組	新石垣空港の整備	実施計画 記載頁	295
対応する 主な課題	伊平屋島、伊是名島及び粟国島では、住民が本島拠点都市等へ移動する際に時間がかかることから、新空港建設や滑走路延長整備が強く求められている。また、新石垣空港など圏域の拠点となる空港については、外国人観光客の増大に対応できるよう受入体制を強化することが課題となっている。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	今後、旅客数の増が見込める新石垣空港について、航空機の大型化に対応した滑走路の新設や、旅客数に対応するターミナルビルを整備する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	空港整備 ターミナルビル 建設	H25.3月 開港					県、国 ターミナル(株)
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
新石垣空港 整備事業	3,106,530 (265,019)	3,095,919 (265,019)	・滑走路、場周道路および駐車場等を整備し、新空港を供用開始した。【内閣府計上】	再掲 3-(1)-ア 153頁
活動指標名			計画値	実績値
空港本体、ターミナルビルの整備			-	1空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・開港により、旅客数が増となった。 平成24年3月:154,470人 → 平成25年3月:194,239人 (+39,769人)			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
-	-	-	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・前年度で事業完了。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・新石垣空港が開港したことで離島路線全体の旅客数は増加しており、また、LCCも就航することから、目標達成に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)離島空港の旅客数を伸ばすためには、空港地上業務体制の確保や島の魅力を積極的なPRが必要であり、関係機関と連携を図る必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)開港後、利用者や空港内事業者から空港施設を利用しやすくするよう改善要望があるため、利便性向上に向けて取り組む必要がある。

4 取組の改善案(Action)

1)航空路線の誘致活動や観光PR事業を所管する文化観光スポーツ部及び離島路線を所管する企画部と連携を図るため、観光・交通施策連絡会議を設置する。

2)空港施設の利便性向上を図るため、空港内事業者、地元石垣市、交通事業者およびビル会社等で構成する新石垣空港管理運用に関する連絡会議を設置する。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化	
施策	① 離島空港の整備及び離島航空路の維持・確保		
主な取組	離島拠点空港の国際線受入体制の整備	実施計画 記載頁	295
対応する 主な課題	伊平屋島、伊是名島及び粟国島では、住民が本島拠点都市等へ移動する際に時間がかかることから、新空港建設や滑走路延長整備が強く求められている。また、新石垣空港など圏域の拠点となる空港については、外国人観光客の増大に対応できるよう受入体制を強化することが課題となっている。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	国際便運航の促進、空港利用者の利便性や快適性の向上を図るため、新石垣空港や宮古圏域の空港において、国際線旅客ターミナルビルやCIQ施設を整備する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	新石垣空港 ターミナル建設 CIQ施設整備						県、市町村 ターミナル(株)
宮古圏域における拠点空港のCIQ施設整備 (調査、設計、工事)							
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
新石垣空港 整備事業	175,871	175,871	・ターミナル(株)に補助金を交付し、国際線ターミナルビルとCIQ施設を整備した。【県単等】	再掲 3-(1)-ア 153頁 3-(2)-ウ 171頁 4-(1)-ウ 328頁
活動指標名			計画値	実績値
国際線ターミナルビルとCIQ施設の整備			-	1空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・新石垣空港CIQ施設整備により、新たな国際線が2便就航した(2便とも石垣～仁川)。 平成25年2月迄:2社 → 平成25年3月～:4社			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空 港整備事業 費	8,000	・県が宮古圏域の空港における国際線旅客ターミナルビルとCIQ施設の基本設計を行う。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

<p>・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。</p>

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
新石垣空港の年間旅客者数(国際線)	3.2万人 (22年)	(23年)	(24年)	—	—
状況説明	・今年度は、新石垣空港の開港を機に、運休していた路線の運航が再開すると共に、定期化も見込まれていることから、目標に向けて順調に推移していくものと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>1)宮古圏域の2空港の役割分担の決定に時間を要したため、CIQ施設の導入時期が遅れることが懸念される。</p> <p>2)宮古島市は沖縄観光コンベンションビューローや市の観光協会と連携し、韓国をはじめ近隣諸国のインバウンドに力を入れて始めており、宮古圏域においても外国人観光客が増えることが予想される。</p> <p>3)新石垣空港では、県や石垣市が積極的に行ってきた観光プロモーション活動が奏功したことで、想定以上の外国人観光客の利用となったため、観光客からはターミナル施設の狭隘さが指摘されており、その対応を検討する必要がある。</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>4)宮古圏域のCIQ設計段階において国機関(税関、検閲など)、地元自治体、観光協会および航空事業者などの意見を取り入れ、適切なCIQ施設規模を決定する必要がある。</p> <p>5)新石垣空港において、関係機関の意見集約を行い、今後の利用状況を見据えて、適切な規模を決定する必要がある。</p>
--

4 取組の改善案(Action)

<p>1)2)4)宮古空港のCIQ施設導入について、宮古圏域の2空港の役割分担が平成24年度で決着したことから、早急に事業に着手し、地元関係機関や航空事業者、国機関と連携を図り、円滑に設計業務を遂行する。</p> <p>3)5)石垣空港ターミナルの増設については、県土木建築部、県文化観光スポーツ部、石垣市、ターミナル株式会社で構成する検討会議を設置し、適切な規模への増築に向けた検討、調査を行う。</p>

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
施策	① 離島空港の整備及び離島航空路の維持・確保			
主な取組	伊平屋空港の整備	実施計画 記載頁	295	
対応する 主な課題	伊平屋島、伊是名島及び粟国島では、住民が本島拠点都市等へ移動する際に時間がかかることから、新空港建設や滑走路延長整備が強く求められている。また、新石垣空港など圏域の拠点となる空港については、外国人観光客の増大に対応できるよう受入体制を強化することが課題となっている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	伊是名・伊平屋地域における生活利便性の向上や産業の振興を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計		設置許可申請～空港整備			→	県、国
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	49,436 (23,625)	32,898 (23,625)	・伊平屋空港建設が周囲の環境に与える影響を検討したが、就航機材の決定に時間を要しており、航空会社を含めた関係機関との協議が遅れている。【県単等】	再掲 2-(6)-ア 140項 3-(1)-ア 153項
活動指標名			計画値	実績値
環境影響評価書の作成			-	1空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・環境影響評価条例に基づく評価書の手続きが完了し、着実に空港整備事業が進捗している。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	16,538 (16,538)	・航空会社の就航同意を得る。 ・環境影響評価条例にかかる手続きを進める。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・やや遅れているものの、早期に協議会を開催し、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客者数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、伊平屋空港の整備により3万2千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- 1)航空会社は、新規の航空路開設に慎重である。
- 2)一般空港予算が大幅に縮減されている。
- 3)環境影響評価書知事意見を受け、計画を見直す必要がある。
- 4)就航機材で施設の整備規模が決まるため、航空会社と協議し、整備規模を検討する必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- 5)知事意見を受け、施工規模の変更を行っており、変更案に対する合意形成を得る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- 1)3)4)5)就航条件について航空会社を含めた関係機関と協議を行うとともに、修学旅行の誘致を行うなど、伊平屋村、伊是名村による積極的な航空需要の喚起を促進する。
- 2)国に対する予算要求において、伊平屋空港の新規整備の必要性を訴えていく。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
施策	① 離島空港の整備及び離島航空路の維持・確保			
主な取組	粟国空港の整備	実施計画 記載頁	295	
対応する 主な課題	伊平屋島、伊是名島及び粟国島では、住民が本島拠点都市等へ移動する際に時間がかかることから、新空港建設や滑走路延長整備が強く求められている。また、新石垣空港など圏域の拠点となる空港については、外国人観光客の増大に対応できるよう受入体制を強化することが課題となっている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	粟国地域における生活利便性の向上、産業の振興、持続可能な離島地域社会の実現を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計		設置許可申請～空港整備			→	県、国
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	21,525	6,457	滑走路整備に必要な舗装強度などの調査を行った。【県単等】	<small>再掲</small> 2-(6)-ア 140項 3-(1)-ア 153項
活動指標名			計画値	実績値
既設舗装の調査			-	4箇所
-			-	-
推進状況	取組の効果			
■順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・関係機関等と綿密に調整を行うことで、地元自治体が求めている「空港施設」や「運航頻度」などの内容を得ることができ、平成26年度事業着手に向けて前進した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	15,068 (15,068)	・土木および照明施設の設計を行う。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、粟国空港の整備により1万5千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)地元粟国村は、現在就航している機材(9人乗り)の大型化を要望している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)国等の関係機関とも綿密に調整を図り、その結果を基本設計に反映させた上で、空港整備の方向性を決定する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

1)2)空港整備の方向性を決定するため、「粟国空港整備促進協議会」を開催し、地元の合意形成を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
施策	① 離島空港の整備及び離島航空路の維持・確保			
主な取組	離島空港の更新整備	実施計画 記載頁	295	
対応する 主な課題	伊平屋島、伊是名島及び粟国島では、住民が本島拠点都市等へ移動する際に時間がかかることから、新空港建設や滑走路延長整備が強く求められている。また、新石垣空港など圏域の拠点となる空港については、外国人観光客の増大に対応できるよう受入体制を強化することが課題となっている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	離島空港において航空機の安全な運航を確保するため、必要な空港の更新整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	各離島空港の更新整備(滑走路、場周柵の維持補修等)					→	県
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	86,740 (72,556)	136,951 (72,556)	・供用中の空港において、着陸帯および場周柵の補修を行った。【県単等】	-
活動指標名			計画値	実績値
更新整備空港数			-	7空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・適切な更新整備を行うことで、航空機の安全な運航につながった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	418,061	・搭乗橋、滑走路および場周柵の更新整備を行う。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	・当事業の実施により、航空機の安全な運航が確保されたことも旅客数の増に繋がったと考えられる。 ・当事業を継続することで目標達成に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)国においては、社会資本の老朽化が進むなかで、「国民の命を守る」観点で空港施設の維持管理・更新を適切に行っていく方針が示されており、県としてもその方針に則り取り組んで行く。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)補修箇所が多く、予算内で全箇所を補修することが困難なため、優先順位を決定して効率的に維持補修工事を行う必要がある。

4 取組の改善案(Action)

1)2)施設の更新工事を実施する県の出先機関の各土木事務所と定期的な執行会議を行い、優先順位の指針を策定するとともに、適正な予算確保に努める。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
施策	① 離島空港の整備及び離島航空路の維持・確保			
主な取組	離島空港保安管理対策事業	実施計画 記載頁	296	
対応する 主な課題	伊平屋島、伊是名島及び粟国島では、住民が本島拠点都市等へ移動する際に時間がかかることから、新空港建設や滑走路延長整備が強く求められている。また、新石垣空港など圏域の拠点となる空港については、外国人観光客の増大に対応できるよう受入体制を強化することが課題となっている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	・県管理空港の保安対策の充実のため、航空会社が実施する保安検査に要する経費等への助成や空港における車両突入防止用のガードレール・杭などの設置等を行う。 ・空港保安管理規程を遵守できる体制を確保するために必要な人員や点検に要する費用を助成すると共に、消火救難体制を確保するために必要な消防車等を配備する。							
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体	
	1空港		1空港			→	県	
	保安施設設置							
	12空港							
	管理委託、保安検査等の費用に対する助成							
		2空港						
		車両突入及び不法侵入防止対策等の実施						
担当部課	土木建築部空港課							

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
空港管理運営費	763,116	763,116	・県管理空港において定期便を就航している航空会社(JTA、ANA、RAC、SKY)に対して、保安施設費用及び保安検査費用を補助した。 ・県管理空港において、権限移譲している市町村に対する管理委託料を補助した。【県単等】	—
活動指標名			計画値	実績値
保安施設更新空港数			—	6空港
管理委託空港数			—	11空港
推進状況	取組の効果			
■順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・保安施設(保安検査機器)が更新されたことでハイジャック検査や爆発物検査等が適正に実施されたことと、適正な運用を行ったことで航空機の安全運航が確保された。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
空港管理運営費	1,054,438	<ul style="list-style-type: none"> ・県管理空港において定期便を就航している航空会社(JTA、ANA、RAC、SKY)に対して、保安施設費用及び保安検査費用を補助する。 ・県管理空港において、権限移譲している市町村に管理委託料を補助する。 ・空港用化学消防車を配備する。【県単等】 	-

(3) これまでの改善案の反映状況

<p>・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。</p>

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客者数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-

状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業の実施により、航空機の安全運航が確保されたことも離島路線全体の旅客数の増に繋がったと考えられる。 ・当事業を継続することで目標達成に向けて順調に推移していくと考えられる。
------	--

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>1)海外では航空機爆破テロ未遂事件が発生しており、テロ対策は国際社会の重要課題となっている。そのようなことから、国管理空港において、国は航空運送事業者等に対し、保安施設費用及び保安検査費用の半額を補助している。</p> <p>2)LCCの参入により、離島空港に就航する便数も増加傾向であり、空港の管理運用業務が増大している。</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>3)沖縄県と同様に複数の空港を管理する北海道、東京都、長崎県、鹿児島県の保安施設費用及び保安検査費用への補助率は、それぞれ43.6%、50%、47.4%、37.1%であるが、沖縄県は28.4%と低い補助率となっている。また、国からは、航空関係事業者が実施する保安措置が確実に行なわれるよう、空港管理者として財政的支援等適切な措置を実施し、航空保安の確保に万全を期すよう通知があり、適正な保安体制を確保する必要がある。</p>

4 取組の改善案(Action)

<p>1)3)航空会社の負担軽減を図るため、国と同様に50%の補助率となるよう県予算を要求し、適正な保安体制の維持に努める。</p> <p>2)就航する便数が増加すると、管理運営に必要な費用も増大することが予想されるため、綿密なヒアリングを行い、適正な費用確保に努める。</p>

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-ウ	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
施策	① 離島空港の整備及び離島航空路の維持・確保			
主な取組	利用促進協議会運営	実施計画 記載頁	296	
対応する 主な課題	伊平屋島、伊是名島及び粟国島では、住民が本島拠点都市等へ移動する際に時間がかかることから、新空港建設や滑走路延長整備が強く求められている。また、新石垣空港など圏域の拠点となる空港については、外国人観光客の増大に対応できるよう受入体制を強化することが課題となっている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	空港利用促進協議会を設立し、キャンペーンの実施、広報宣伝活動および活動に取り組む人材への支援を行い、空港の積極的な活用による地域経済の活性化を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		1空港		1空港	1空港	→	県 市町村 民間団体
	利用促進協議会設立・運営						
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	—	—	・県の観光担当部署や市町村が一括交付金を活用して利用促進協議会と同様な事業を展開しているため、状況をみている。	—
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
—			—	—
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	・空港利用者が増えることで、地域経済の活性化が期待される。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	—	・平成24年度と同様な理由により、活動予定なし。	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・沖縄県及び市町村が実施しているエアライン誘致活動や県外における広報活動の状況を見ていく。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・新石垣空港が開港したことで離島路線全体の旅客数は増加しており、また、LCCも就航することから、目標達成に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)平成24年度から、文化観光スポーツ部および空港所在市町村が、一括交付金を活用案内表示板の設置や広報宣伝活動を実施しているため、県および市町村事業以外に利用促進協議会が実施する事業がないか検討する必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)当面は、文化観光スポーツ部および市町村が実施する事業と一体となって取り組んでいきたい。

4 取組の改善案(Action)

1)2)文化観光スポーツ部及び市町村が実施する事業の状況を見て、利用促進協議会が実施する事業の必要性を判断する。